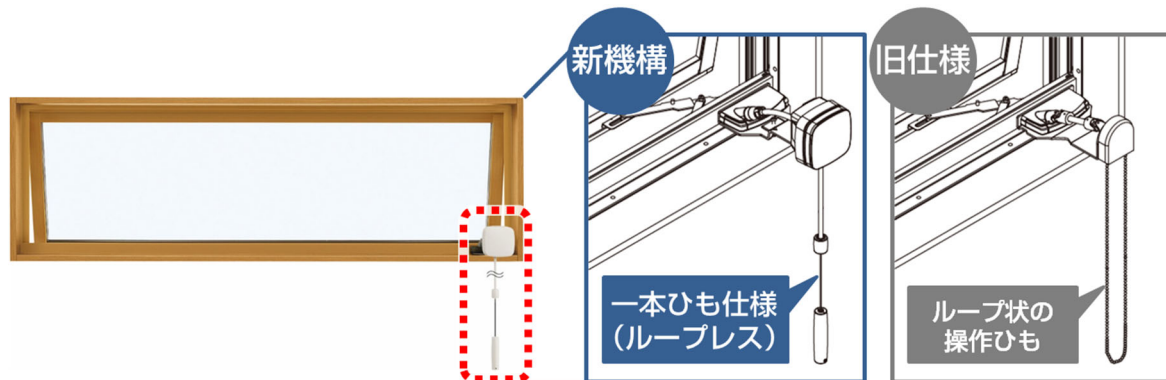


業界初の新機構 高窓・収納網戸の操作ひもをループレス化 ～ 安全・安心に配慮 窓・網戸商品の標準仕様として全面切り替え～

YKK AP株式会社（本社：東京都千代田区 社長：堀 秀充）は、高窓用オペレーターや上げ下げロール網戸に使用されている「操作ひも」について、従来のループ状から、業界初の機構による安全・安心に配慮したループレス化を実現しました。ループレス仕様の操作ひもは、YKK AP窓・網戸商品の標準仕様として2021年4月発売のアルミと樹脂の複合窓「エピソードⅡ」から全面切り替えを進めていきます。

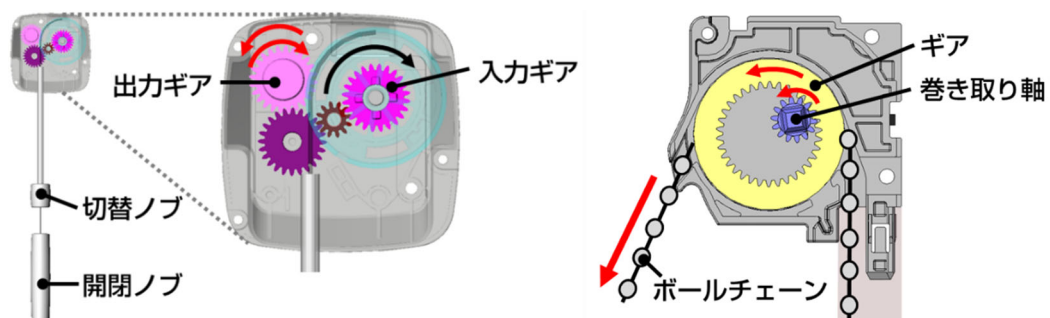


ループレス仕様（高窓用オペレーター）

従来の操作ひもはループ状の操作ひもを引くことにより窓の開閉や網戸の上げ下げを行いますが、操作ひもが子どもの体に巻き付くことで窒息などの事故につながる危険性がありました。

消費者庁は2016年、ブラインド等のひも部分による子どもの事故が複数発生していることを受けた事故から子どもを守るための注意喚起を行っています（※1）。YKK APでは、該当商品の操作方法や機構に関する研究開発を行うとともに、現行商品については子どもの手に届かないよう束ねる専用クリップと取り扱い上の注意書きを商品に同梱し、マニュアルに記載するなどの注意喚起の取り組みを行ってまいりました。

YKK APでは、操作方法や機構に関する研究開発の中で、安全性のさらなる向上に向け、操作ひものループをなくした一本ひも仕様の操作部品の実現に挑戦してまいりました。この結果、業界初の新機構の開発に至りました。高窓用オペレーターでは、操作部品の中にある切替ノブを引くごとに内部の入力ギアのかみ合わせが切り替わり、出力ギアの回転方向を変えることによって、一本のひもによる窓の開閉を実現しました。収納網戸では、一本のひも状のボールチェーンのボール部分一つ一つを操作部品のギアに引っ掛けることで巻取り軸を回転させ、網戸を上げ下げします。これらの機構について6件の日本特許を出願中です。

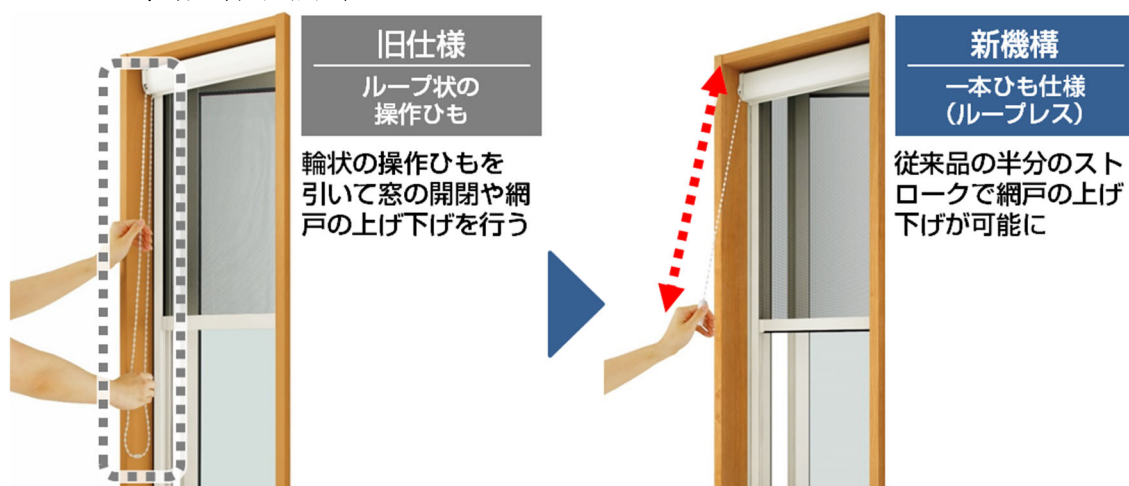


新機構イメージ図（左：高窓用オペレーター、右：収納網戸）

YKK APではループレス仕様の操作ひもをYKK APの窓・網戸商品の標準仕様として、2021年4月以降、全面切り替えを進めてまいります。なお、仕様変更に伴う商品の価格改定はございません。

YKK APは、商品をお使いになる全てのお客様へ安全・安心をお届けするため、今後も生活者視点での商品づくりを進めてまいります。

■ループレス仕様（収納網戸）



■切替予定商品

高窓用オペレーター	収納網戸
<p>対象窓種 高所用すべり出し窓、高所用換気窓</p> <p>対象シリーズ 「APW 330」「APW 330 防火窓」 「プラマードH」「エピソードII」 「エピソードII 防火窓」「フレミングJ」 「防火窓Gシリーズ」</p>	<p>対象窓種 上げ下げロール網戸</p> <p>対象シリーズ 「APW 430」「APW 430 防火窓」 「APW 330」「APW 330 防火窓」 「プラマードH」「かんたんマドリモ」 「エピソードII」「エピソードII 防火窓」 「フレミングJ」「防火窓Gシリーズ」 「汎用網戸」</p>

※1 消費者庁 平成28年6月29日「ブラインドのひもの事故に気を付けて！」
https://warp.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11010180/www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/160629kouhyou_1.pdf